

新年のごあいさつ



松浦市長
友広 郁洋

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を顧みますと、まず、独立行政法人地域医療機能推進機構（ＪＣＨＯ）が松浦市内に開設する「（仮称）松浦中央病院」の申請について、県の医療審議会承認されるなど、その実現に向けて大きく前進しました。

このことについては、昨年9月に市民皆様が主催された「伊万里松浦病院の松浦市への移転を目指す市民決起大会」が大きな力となり、まさに市民と行政が一九となって取り組んだ結果であると認識しているところであります。次に、昭和54年度の開設から38年の長い年月が経過し、老朽化が進んでおりました松浦魚市場については、関係皆様のご支援のもとHACC（ハック）にも対応可能な高度衛生管理型魚市場への再整備に着工することができました。

更に、西九州自動車道今福インターチェンジから調川インターチェンジ間も開通したことから、魚市場をはじめ経済活動の更なる弾みについても期待

されるところです。

一方、昨年7月中旬以降に伊万里湾で発生しました赤潮は、本市の水産業を代表する養殖漁業に大きな被害を及ぼし、その対策に課題が残る一年となりました。

さて、新しい年を迎え、経済活動を支えるための大型事業が昨年に引き続き推進されます。まず、西九州自動車道「伊万里松浦道路」では、松浦インターチェンジまでの供用開始が、この平成30年度中に予定されており、人の流れ、物の流れが一段と加速されるものと期待しております。次に、九州電力松浦発電所2号機の建設も、来年12月の営業運転を目指し、今年が工事の最盛期を迎えられるものと思われれます。また、松浦魚市場の再整備も中核となる荷捌き施設の整備に向け着手してまいります。さらに、市場内に建設中の事務棟は、この3月に完成する予定となっております。その1階には来場者向けの「食事処」も整備され、交流人口の拡大に貢献することが期待されております。

このほか、鷹島地区においては、鷹

島小・中学校の改築に向けた基本設計・実施設計に入ります。福島地区では、農水産物直売施設「とれたて福の島」が、この4月にオープンします。また、昨年策定した「福島全島公園化計画」の具現化も市民との協働により進めてまいります。今福地区では、定住促進住宅「今福梶の葉団地」が、この3月末に全戸（33戸）完成するとともに、今福地域スポーツ施設の野球場も竣工します。

このように、ハード事業が目に見える形で進む一方で、子育て支援や高齢者の生活を支える活動は、市民の自主的な行動により実施されており、本市が誇りとする分野であります。

私は、この2月4日をもちまして市長を退任いたしますが、12年間の長きに亘り市民皆さまからのご厚情に対し、心より感謝と御礼を申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして、素晴らしい1年となりますよう祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



松浦市議会議長
高橋 勝幸

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。
ここに希望の新春を迎えるに当たり、市民皆さまのご清福とご繁栄を心からお祈りいたします。

近年の地方分権の進展により、住民に身近な「市」の役割は一層重要になっております。松浦市政においては、人口減少・少子高齢化への対応及び産業の振興などの課題が山積しております。

このような課題を抱える中、市議会とその議員が果たすべき役割及び責務の重要性はますます増大してきておりますが、昨年3月議会定例会において、議員定数を18名から1名削減し、17名とする条例改正を行ったところであり、市民の代表である市議会といたしましては、執行機関と切磋琢磨しながら、まちづくりの主役は市民の皆さまであること、を第一に、住みよいまちづくりの実現に向けて市議会一丸となって専心努力してまいりたいと考えております。

市民の皆さまのご意見を市政に反映させるべく尽力して参りますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、松浦市にとりまして、新しい年が活力にあふれ、市民の皆さまが、笑顔で暮らせる素晴らしい年となりますことを心から祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。



オーストラリア・マッカイ市長
グレッグ・ウイリアムソン

松浦市民の皆さま、マッカイ市から「明けましておめでとうございます！」
昨年は、マッカイ市と松浦市の姉妹都市関係にとって、嬉しいことも悲しいこともあった年でした。

嬉しい出来事としては、8月に松浦市青少年親善使節団の皆さんがマッカイ市を訪問してくれたこと、そして、9月にマッカイ市親善訪問団が松浦市を訪問したこと、松浦の皆さん、マッカイ市親善訪問団員を歓迎し、団員にたくさん素晴らしい思い出を作ってくれてありがとうございます。アマング・キヤム副市長からは、松浦市民の皆さまの素晴らしいおもてなしと美しい風景、そして美味しい食べ物について本当に素晴らしいかと報告を受けました。

悲しかったことは、7月に松浦市の特別住民でもあり、今日の私たちの姉妹都市関係に重要な役割を果たしてくれたビル・モロイ氏が亡くなったことです。多くの人がビルさんのユーモアと温かさを懐かしく思っていることでしょう。しかし、彼は、生前とても名譽なことだと話していた松浦市で開催される「ビル・モロイ杯 English Speech コンテスト」や私たちの友好関係に多くのものを残してくれました。

また、今期をもって市長を退任される友広市長には、これまで私達の姉妹都市関係を強く支持して下さいたことを大変嬉しく思っております。

最後にマッカイ市を代表して、松浦市民の皆さまが繁栄に満ちた2018年をお過ごしになることを心からお祈りいたします。